

自家用有償旅客運送の必要性について

1 三浦市の公共交通の現況

(1) 鉄道

三浦市の鉄道駅は、京浜急行電鉄株式会社の三崎口駅と三浦海岸駅の2駅があります。三崎口駅は京急久里浜線の最南端駅であり、品川駅までは約70分、横浜駅までは約50分でアクセスできる距離にあります。

三崎口駅より南に位置する三崎地区は、三浦市で最も人口の多いエリアですが、このエリアへの移動については、バスやタクシーを利用する必要があります。

また、三崎地区以外の南下浦地区、初声地区についても、2つの鉄道駅からの移動にバスやタクシーが必要となるエリアが多く存在します。

(2) バス

三浦市で路線バスを展開している京浜急行バス株式会社（以下「京急バス」という。）は、三崎口駅及び三浦海岸駅から幹線道路を中心として三崎港方面や横須賀方面への路線定期型の運行を行っています。

バスの運行本数（※「別紙1 バス時間帯別運行本数状況図」参照）については、朝の時間帯（7時）においては、全ての路線で運行があり、運行本数が多い路線では上下線合わせて1時間に20本以上が運行しています。しかし、夜間になると本数はおおよそ半減し、運行が終了する路線もあります。22時以降では、各駅からの下り方面（三崎地区）への運行はありますが、上り方面は、23時01分（三崎東岡発）の最終バス1本のみとなります。

このように、一部地域では、日中の運行はありますが、夜間は運行していない路線もあるため、その地域の移動手段はタクシーとなります。

(3) タクシー

三浦市は、京浜交通圏に属し、市内に営業所を有する法人タクシー事業者は2事業者で、両者とも三浦市内全域に配車しています。

No.	会社名	営業所	営業所位置	登録台数	運行時間
1	有限会社いづみタクシー	本社営業所	三浦市天神町 5-26	17 台	5 時～19 時
2	京急三崎タクシー株式会社	本社営業所	三浦市原町 15-13	18 台	5 時～26 時

いづみタクシーは令和4年の夏頃までは25時まで三崎下町地区を中心に運行していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による乗客数減少の影響や運転手不足により、現在は19時以降の運行を取りやめています。

京急三崎タクシーは夜間も26時まで運行を行っていますが、駅からの乗客の交通手段の確保を優先した運行を行っています。

2 運転免許保有等の状況について

人口（16歳以上）に対する運転免許保有率は約70%でほぼ横ばいですが、全国平均（75%）より低い状況です。また、市内の高齢化率は、41.6%であり、神奈川県平均（25.8%）や全国平均（29.0%）を大きく上回っています。

運転免許保有率や高齢化率の状況を踏まえますと、公共交通機関での移動に頼らざるを得ない割合（公共交通の必要性）が、全国平均よりも高いと考えます。

■三浦市内の運転免許保有状況

	保有者数（人）	保有率
令和2年	26,721人	70.2%
令和3年	26,354人	70.2%
令和4年	26,043人	70.1%
令和5年	25,751人	—

※保有者数については、各年12月31日現在。

保有率については、16歳以上人口に対する保有者数の割合。

【人口の推移の比較】

三 浦 市	平成22年	平成27年	令和2年	令和5年
人口（人）	48,352	45,289	42,069	40,841
高齢者人口（人）	14,238	16,081	17,229	16,936
高齢化率（%）	29.4	35.5	41.0	41.6
神 奈 川 県	平成22年	平成27年	令和2年	令和5年
人口（人）	9,048,331	9,126,214	9,237,337	9,227,901
高齢者人口（人）	1,819,503	2,158,157	2,360,820	2,326,294
高齢化率（%）	20.1	23.6	25.6	25.8
全 国	平成22年	平成27年	令和2年	令和5年
人口（千人）	128,057	127,095	126,146	124,752
高齢者人口（千人）	29,246	33,465	36,027	36,173
高齢化率（%）	22.8	26.3	28.6	29.0

※平成22～令和2年については国勢調査で各年10月1日現在。

令和5年については、1月1日現在の神奈川県年齢別人口統計調査、

全国は総務省統計局の人口推計（令和5年6月報）の1月1日現在の数値を掲載。

3 三浦市における自家用有償旅客運送の必要性について

市内の公共交通を担っている京急バスは三崎口駅及び三浦海岸駅につながる幹線道路を主に運行していますが、バス路線を外れた地域の道路は幅員が狭いため、そのような地域にバス路線を増やすことは困難です。また、バスの運転手不足についても、全国的な社会課題となっており、京急バスにおいても運転手不足が生じている状況のため、路線バスの運行本数を増やすことは難しいと考えています。

タクシー事業者2者も市内中心に運行を行っていますが、19時以降はタクシーの台数が減少するため、駅周辺以外の地域でタクシーを利用するのが難しい状況です。

この夜間のタクシー不足について、市民や地元飲食店から改善を求める声が上がっています。また、市立病院に夜間救急搬送された患者が治療を終えた後、タクシーがなく帰宅できずに病院に宿泊するという状況もありました。

以上のことから、三浦市では夜間に限り、市内の全域が交通空白地となっています。この夜間帯の交通空白地においては、バスやタクシーの増便、運行時間延長を行うことは難しい状況です。

このような状況の中、神奈川版ライドシェアの検討が進められています。県内の観光地等におけるタクシー不足解消のため、一般ドライバーが自家用車を使用して、有償で旅客を運送する神奈川版ライドシェアは、タクシー事業者が運行管理等を行い、時間帯や地域を限定して実施するものです。三浦市内での導入を目指していますが、夜間のタクシー需要が把握できていないため、実証実験を、三浦市主体で自家用有償旅客運送制度を活用して行うことが必要であると考えています。需要や運用面での課題を検証し、神奈川版ライドシェアの実現につなげていきます。